

平成25年度 第2回北名古屋市男女共同参画審議会 結果概要

- 1 日時 平成26年2月10日(月) 午後1時30分～午後2時30分
- 2 会場 北名古屋市役所西庁舎 4階 大会議室東側
- 3 出席者 14人
＜委員8人(欠席4人)・市長・事務局：部長・課長以下4人＞
- 4 傍聴人 なし
- 5 議題等
 - (1) 市長あいさつ
 - (2) 委嘱状交付
 - (3) 出席者自己紹介
 - (4) 会長及び副会長の選任
 - (5) 平成25年度男女共同参画事業中間報告について
 - (6) 北名古屋市審議会等への女性登用促進要領(案)について
- 6 会議概要
 - (1) 会長及び副会長の選任
＜事務局＞

条例及び規則について、審議会関係条項を説明。
委員の互選により会長及び副会長が選任された。
 - (2) 平成25年度男女共同参画事業中間報告について
 - 事務局から平成25年度男女共同参画事業中間報告について説明
 - 委員協議＜委員＞

「はがき1枚からの男女共同参画」作品募集について、今年度は学校単位の応募が多かった。北名古屋市でも取り組んでみてはどうか。

＜委員＞

お手伝いカードの配布先が全小学校ではないが、どのように配布したか。

＜事務局＞

全小学校に希望をとり、希望のあった小学校へ配布した。
 - (3) 北名古屋市審議会等への女性登用促進要領(案)について
 - 事務局から北名古屋市審議会等への女性登用促進要領(案)について説明
 - 委員協議＜委員＞

第2条の「法律又は条例により設置される附属機関」とは、具体的に何を指すのか。

＜事務局＞

表彰審査会、防災会議、国民保護協議会など、名称に「審議会」とつかない会も含まれている。

<委員>

数値を上げることを目標とするより、人材育成講座の開催等、人材育成に力を入れるべきではないか。

<事務局>

市単独での人材育成講座の開催は難しいため、愛知県男女共同参画人材育成セミナーへ市民を派遣し、修了生を男女共同参画推進人材データベースに登録している。幅広い市民にセミナーに参加していただけるよう、来年度の人材育成セミナー受講候補者は公募を実施する。

<委員>

目標達成のためのみに女性が委員に登用されることがあってはいけない。

<事務局>

女性委員がゼロ、あるいは極端に少ない委員会もある。現状では目標値に近づくことも難しい。男女共同参画推進の意識を持ち、登用について見直しをすることも目的としている。女性の委員登用を強制するものではない。男女共同参画審議会は、条例で「男女いずれか一方の委員の数は委員の総数の4割未満であってはならない。」とされている。

<委員>

それぞれの委員会等で、男性向き・女性向きの傾向があると思う。男女比率のバランスだけみるのはどうかと思う。

<委員>

愛知県の男女共同参画推進状況のランキングでは、北名古屋市は女性の委員登用率が影響し、今年度11位に順位を落としている。ランキングも重要な指標のひとつである。要領の制定には賛成できるが、課題もある。

<委員>

要領（案）に35%を達成した際に要領を廃止する旨が謳われていない。

県のセミナーの修了生と、審議会等に委員として参加してもらいたい人材では、少し異なる部分がある。自分の意見が何に左右されているのか理解してもらう機会をつくる必要があるのではないか。男女共同参画に長く携わっていると、男女が平等に施策決定の場で発言することに意義があるということは当たり前になっているが、知らない人もたくさんいると思うので、団体向けでもよいので、情報発信するなど何か啓発の方法があるのではないか。

<事務局>

連絡会でセミナーのお知らせ等を行っているが、参加団体以外への情報発信ができていない状況である。連絡会の参加団体が増えるよう取組を進める。

男女共同参画への関心が薄い方への啓発活動が課題である。行政、連絡会参加団体、それぞれの立場で啓発活動を進めていきたい。市役所内でも、課によって男女共同参画意識に差があるので、要領を制定することで委員改選期に気に留めてもらうことで、少しでも意識を高めていきたい。できることから取り組んでいきたいと考えている。

<委員>

登用率について、数字だけみると悪くない数字だと思う。

<委員>

表記方法が、いつも「女性委員の割合」となっており、「男性委員の割合」とは書かれない。頭から「男性が多い」という観念があるから、そのような表記になっているのではないか。表記の方法も考えたほうがよいのではないか。

<事務局>

どちらの表記にしても、数字の内容は変わらないが、女性の登用を進める内容なので、このような表記としている。

<委員>

昔からの慣例で、「男性委員が多い」という頭があるので、男女共同参画の観点から、女性委員を増やすことが注目されてしまう。

<委員>

保育園、小学校では父兄会と言わなくなった。他の自治体がやっているからではなく、表記方法にしても北名古屋市から見直してはどうか。

<委員>

女性委員の登用が少ないからこそ、取り上げている。実際に女性委員が多ければ、目標値を掲げる必要もない。

<委員>

男性委員の公募もあるのか。

<委員>

今回、男女共同参画審議会委員のうち、男性1名が公募である。

<委員>

女性委員を増やすだけでなく、男性もいろいろなものを持っているから、女性の意見だけでなく、男性の意見も聞いたほうがよい。市民活動団体でも会員を女性に限定せず、男性も取り込み、活動を盛り上げていきたい。

<委員>

現役を退いた年代の男性が地域に多いので、そのような方にも参加してもらいたい。

<委員>

愛知県が「あいち女性連携フォーラム」を設置し、様々な団体が参加している。

北名古屋市の連絡会にも、他の団体に参加してもらおうと男女共同参画の考えが広がっていくのではないかと。

<事務局>

連絡会は参加団体を固定していない。参加団体を増やしネットワークを広げたい。

<委員>

小牧市の例を参考にしてみると、具体的になるのではないかと。

<事務局>

連絡会で議題として取り上げ、参加団体と協議していきたい。

要領（案）については、推進本部にて諮る予定。理由書5の「女性委員の割合が35%未満の理由」については、柔らかい表現に変更する。

(4) その他

- 事務局から3月2日開催の第2回とらいあぐるフェスタ～ひと、輝く～のご案内
- 事務局から平成26年度愛知県男女共同参画人材育成セミナー受講候補者募集のご案内
- （公財）あいち男女共同参画財団平成25年度後期セミナーのご案内
- 事務局から委員報酬振込のご案内

<委員>

ありがとうございました。以上を持ちまして本日の会議を終わらせていただきます。
委員の皆様ありがとうございました。

<閉会 午後2時30分>